LS1_T（荷重･時間） 剥離･引張圧縮強度 Windows対応標準データ処理ソフトウェア

■剥離・引張圧縮試験ソフトの主な特長（Windows 98・ME・2000・XP対応）
（治具を交換することで、９０度・１８０度の剥離試験、伸び強度・圧縮強度試験が出来ます。）

(1) ＰＣにＲＳ２３２Ｃ又はＵＳＢとも両方接続し使用可能です。

(2) 100ｍｓ（0.1秒）～10ｍｓ（0.01秒）でのサンプリングタイムの全ポイント数の平均値・ＭＡＸ・ＭＩＮ値の測定が出来ます。（100･50･40･30･20･10ms の6段階の選択機能）

(3) ２ポイントの平均値 又は 全ポイントの平均値のどちらか選択測定可能。

(4) 試験データを受信しながらＰＣの画面にグラフ及びＭＡＸ・ＭＩＮ・平均値の測定データがリアルタイムで表示できます。（リアルタイム表示機能）

(5) 有効範囲を設定することにより（開始位置と終了位置）その有効範囲内のＭＡＸ・ＭＩＮ・平均値（全ポイント数）を保存できます。

(6) デジタルアンプからの試験データ（荷重値、時間値）は、メモリ上の試験データ格納領域に格納されます。

(7) 試験データ格納領域は１００個あります。従ってディスクへの保存なしに試験データを１００回までメモリ上に保持できます。

(8) サンプリングタイムの設定を 10・20・30・40・50・100ｍｓの６種類から選択できます。

(9) グラフにクロスカーソルを表示し、クロスカーソルを移動しながら荷重値及び時間値を読み取ることができます。（グラフ読み取り機能）

(10) 複数回行った試験データを重ねてグラフに表示することができます。（重ね表示機能）

(11) グラフはクリップボードにコピーすることができます。従って、クリップボードを経由してＷｏｒｄやＥｘｃｅｌにグラフを張り付けることができます。（クリップボードコピー機能）

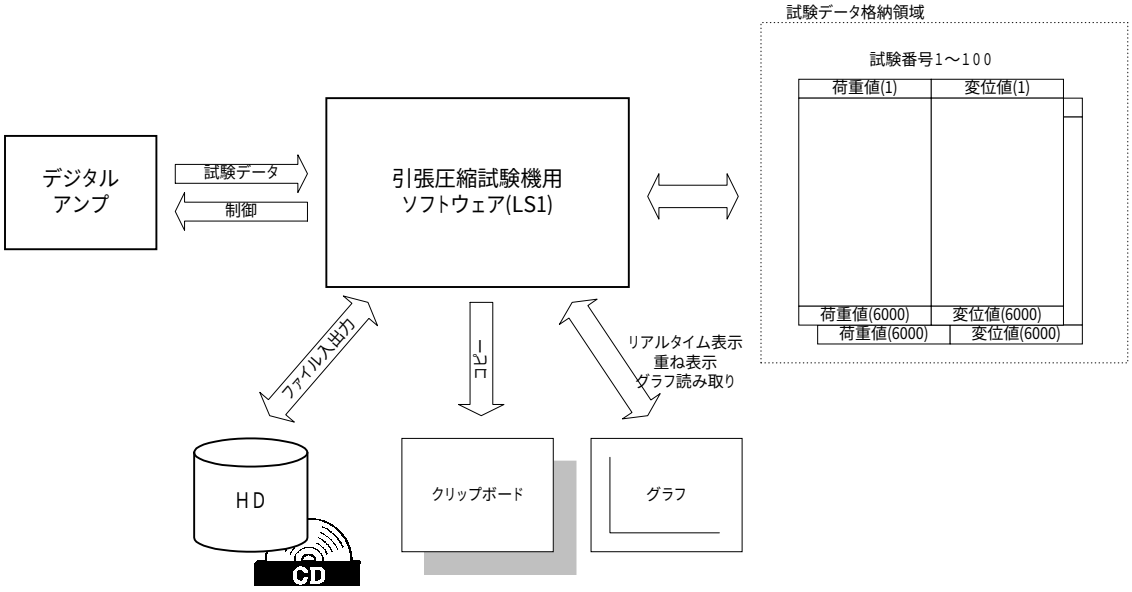
(12) 試験データはハードディスクやＣＤＲに保存できます。また、保存したファイルを読み込み、グラフを表示することができます。（ファイル入出力機能）

(13) ハードディスクやフロッピーディスクに保存するときにファイル名の拡張子を".csv"とすることで、Ｅｘｃｅｌに読み込むことができます。

(14) ＰＣから次の引張圧縮試験機の動作を行うことができます。（引張圧縮試験機制御機能）
引張試験開始、圧縮試験開始、スタンド移動（上／下）、スタンド停止、荷重値ゼロリセット、変位値ゼロリセット

(15) ＰＣに最大100件まで試験条件の登録が出来、一度登録すれば品番等を呼び出し試験制御が出来ます。
（試験条件の登録･削除･上書き機能）

(16) 試験のモード、レンジ、試験条件等のデフォルト値を変更することができます。（デフォルト変更機能）



引張圧縮試験機ソフトウェアＬＳ１の特徴